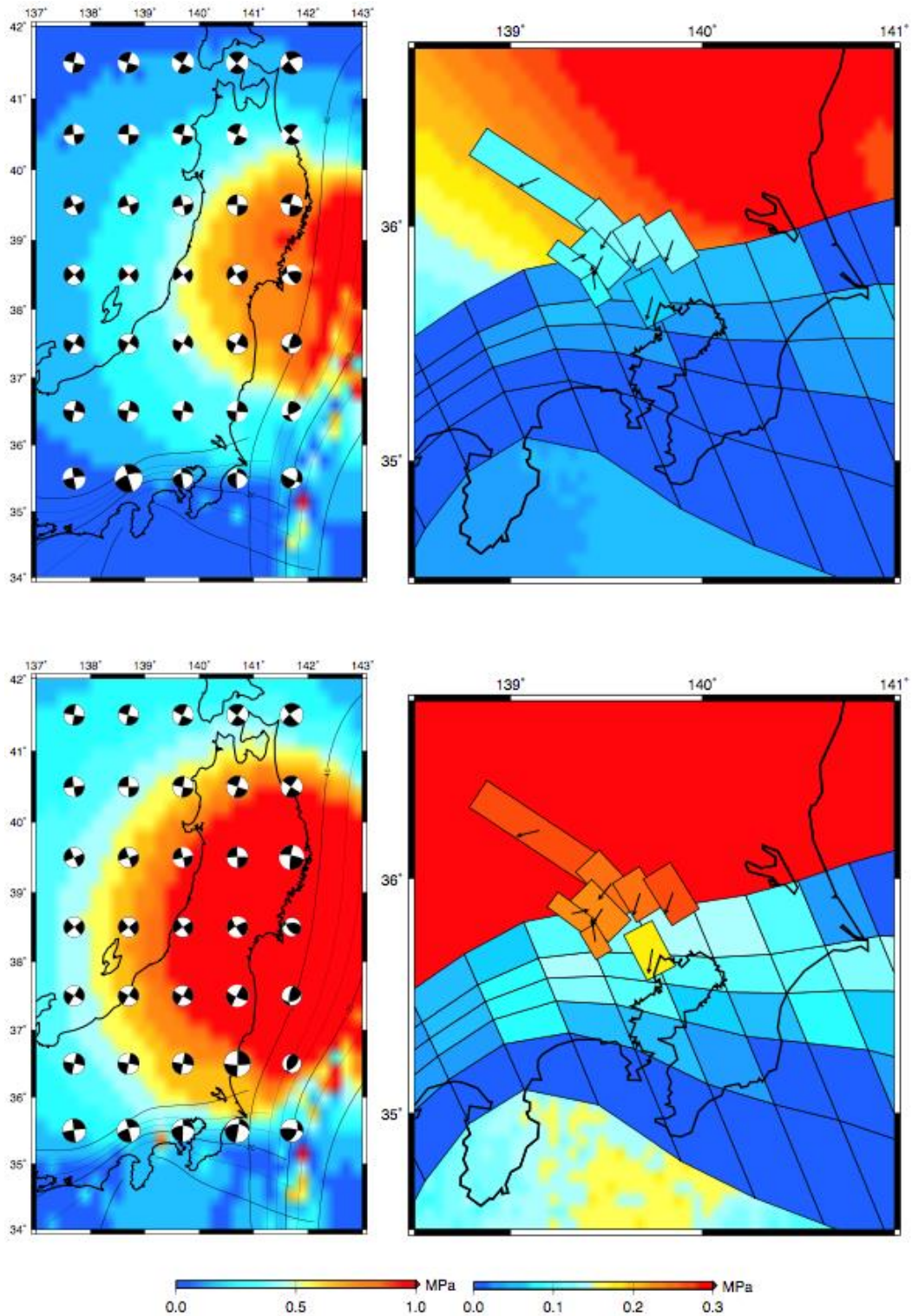


東北沖地震後の粘性緩和による応力変化（3.1.2 参照）



粘性緩和による応力場（上は3年後、下は10年後）。左は東北日本、右は関東地方の応力場。カラースケールは、深さ15 kmにおけるミーゼズ応力（MPa）、断層面、プレート境界面上のクーロン応力。矢印は断層面の最大剪断応力方向。震源球は黒が伸張応力、白が圧縮応力の働く象限を表す。